戦後の学力観・指導要領の精神の変遷

2005.10.26　土井

知恵・学び（みる・きく・話す）　　**（読み・書き・計算）勉強・知識**

[　　]主義(　　)←　　→(　　)[　　]主義

少人数、基礎・基本（理・数）
学力低下論争

総合的な学習　少子化への対応
生きる力・ゆとり
情報化、環境問題、国際化
科学技術の発展
心の教育
個性重視・**生涯教育体系への移行**
変化への対応
心豊かな人間の育成
基礎基本の重視と個性を生かす教育
自己教育力の育成
文化と伝統の尊重と国際理解推進
生活科

学校評議員制
規制緩和
学級崩壊
理数系とび級制度
国際競争力低下
学校５日制へ
科学離れ
産業界・学会から批判

確かな学力
絶対評価
学校５日制
教育国民会議
教育課程審議会
15期中教審
自殺増加
バブル崩壊
登校拒否
いじめ

平　成

６０年代

人間教育
ゆとりと充実・豊かな人間性
知・徳・体の調和
情意の重視（意欲・追求）
個性や能力に応じた教育
評価に支えられた授業（形成的評価）
人間疎外の克服・人間性の回復
ｱﾅﾗｲｻﾞｰ

中教審答申「生涯学習について」

落ちこぼれ
教育の荒廃
知識偏重
受験地獄

５０年代

現代化・科学主義
（現代化教育）
系統学習の発展

ラングランが生涯学習を提唱

４０年代

高度経済成長
学習方法の多様化
産業界からの要請　　発

見学習・教育工学

創造学習・完全習得
学習・学び方学習

系統主義へ
脱経験・向知識
子供の理解力にあった指導体系
経済成長　―　知識概念の科学的修得
（系統学習）
目標内容の精選と基本的事項の指導徹底

ｽﾌﾟｰﾄﾆｸｼｮｯｸ

３０年代

学力低下はいまわる学習

（問題解決学習）単元学習の発展
間接経験を背景とする生活問題
不確定事態をどう解決するかという思考

経験主義　デューイの経験主義論
よりよい生活を求めて
生きた生活技術を身につける
戦前の知識教育体系の排除
（単元学習）
児童中心主義・経験主義の学力観
教科間の境目があいまいなコアカリ

２０年代

戦　　前

知識教育
注入・詰め込み主義
権威主義

集団的知性・集団的活動要求

大正自由教育
児童中心主義